

## 【支部報告】

## 山陰支部

藤原 秀司(短大7回生)



平成26年10月18日(土)に山陰支部総会を、島根県松江市「野津旅館」で開催いたしました。山陰支部の特徴は、島根県と鳥取県合同で交互開催をしていることです。これは、会員数確保が目的であり、現在2県で67名在住しています。一方で、山陰は東西に距離が長く両端で280kmの間に会員が点在していることから、支部総会の参加人数を危惧していました。

しかし当日は、総会員数の約1/3となる20名(専門学校7名、短大10名、大学3名)と、さらに2名の県外会員(元山陰支部)にご参加いただき、驚きとともに改めて学友会の存在の大きさを感じました。

総会では、神澤良明学友会会長から挨拶と学友会の近況報告を、笠井俊文理事からは大学の近況報告、および来年度の求人情報等をご紹介いただきました。学術講演は、島津製作所の高橋宗尊氏から「乳房専用PET装置のご紹介と乳がん診療における期待」と題して最新情報を拝聴いたしました。

終了後の質疑では、重鎮会員から鋭い質問が相次ぎ、会場は学会場さながらの緊迫感に包まれとても有意義で刺激的な時間となりました。

お待ちかねの懇親会では、山陰ならではの海の幸、お酒に舌鼓を打ちながら、各病院の情報交換はもとより、学生時代の昔話、プライベート話など、年代、地域の枠を超えて大いに盛り上がりました。この会は、島根では他校出身技師にも有名であり羨望の対象となっています。これも歴史ある母校の存在と、学友会諸先輩方の継続的な努力の結果であると考えます。

次回は2年後に鳥取県で開催予定です。さらに参加者が増加して盛大な会とするために仁知を尽くして準備を進めてまいります。山陰支部の皆様との再会、また新たな出会いを幹事一同祈念しています。お誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。





以上

---

\* 通巻 214 号 2015 年 1 月 10 日発行(H26-No.4)より